

2 0 1 8 年 度
事 業 報 告 書

事業年度 自 2018年 4月 1日
(第9期) 至 2019年 3月31日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会
東京都中央区銀座一丁目19番16号

(A001891)

2018年度事業報告書目次

■協会の概要	
1. 当法人の現況に関する事項	1
2. 役員等に関する事項	6
3. 会計監査人に関する事項	7
4. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議	7
5. その他の重要事項	9
■公益目的事業1. ゴルフ競技会開催事業	
1. 開催競技及び競技参加者数	10
2. 2018年度競技の改善点	11
3. 競技開催実績	12
4. 他団体競技のシード権の追加	19
5. 機関紙の発行	22
■公益目的事業2. ゴルフ普及振興事業	
1. セミナー・研修事業	23
2. 交流・協力事業	23
3. 調査・研究事業	24
4. 他団体との協賛・後援	24
■その他の事業1. 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業	
1. ハンディキャップ普及振興事業	25
2. JGAコースレート査定事業	25
■その他の事業2. 助成金事業	27
■むすび	27

事業報告書の附属明細書目次

■役員以外の法人等の業務執行理事との重要な兼職の状況	28
■その他の記載事項	28

監事の監査報告事項

■監事の監査報告事項	30
------------	----

■協会の概要

1.当法人の現況に関する事項

(1)事業の経過及びその成果

単位:千円・%

事業別	予算額	決算額	達成率
事業費			
公益目的事業	156,117	138,754	88.9
その他の事業	46,350	40,998	88.5
法人会計	13,730	14,820	87.7
合計	216,197	194,572	107.9
経常増減額			
公益目的事業	▲14,839	▲6,662	
その他の事業	15,944	11,835	
法人会計	625	▲630	
合計	1,730	4,543	

注1) その他の事業(定款第5条):ハンディキャップ普及振興事業並びに助成金事業

(2)資金調達等の状況

- ①資金調達 :なし
②設備投資 :なし

(3)直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位:千円

区分	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 (当該事業年度)
経常増減の部	9,459	6,992	4,543
経常外増減の部	0	0	0
正味財産増減額	9,459	6,992	4,543
正味財産期末残高	58,440	65,432	69,975

(4)主要な事業内容

事業	主要な内容
公益目的事業(定款第4条) 【公益目的事業 1】 ゴルフ競技会開催事業	国民の健康の保持増進、余暇活動の充実、青少年の健全な育成等豊かな国民生活の実現への寄与を目的とし、アマチュアゴルファーによるゴルフ競技会を開催して、生涯スポーツのゴルフの普及振興を図る事業
公益目的事業(定款第4条) 【公益目的事業 2】 ゴルフ普及振興事業	国民の健康の保持増進、余暇活動の充実、青少年の健全な育成等豊かな国民生活の実現への寄与を目的とし、ゴルフに関するセミナー・研修、交流・協力、調査・研究事業を行い、生涯スポーツであるゴルフの普及振興を図る事業
その他の事業(定款第5条) 【収益事業】 ハンディキャップ普及振興事業	ゴルフは老若男女、年齢、性別を問わず同じ土俵(同一条件)で楽しめるスポーツである。そのための前提となる公平な統一ハンディキャップの普及振興事業、及びその前提となるコースレート査定事業
その他の事業(定款第5条) 【助成金事業】	ゴルフの普及振興を目的に活動する団体を支援する観点から助成する事業

(5) 事業体系

事業	実施事業
【公益目的事業 1】 ゴルフ競技会開催事業	1.スクラッチ競技
	(1)全日本アマチュアゴルフフェーズ選手権 (アマ選・女子アマ選)
	(2)全日本シニアアマチュアゴルフフェーズ選手権 (シニア、女子シニア、ミッドシニア、グランドシニア)
	(3)全日本ミッドアマチュアゴルフフェーズ選手権 (ミッドアマ、女子ミッドアマ)
	2.アンダーハンディ競技
	(1)PGSスポンサー杯/PGSハンディ杯
	(2)PGSドリーム・エイジゴルフ大会
(3)その他(月例杯、クラブ対抗戦、スロープレート競技等)	
【公益目的事業 2】 ゴルフ普及振興事業	1. セミナー・研修事業
	2. 交流・協力事業
	3. 調査・研究事業
【その他の事業 1】 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業	1. 公平な統一ハンディキャップの普及振興事業
	2. コースレート査定事業
【その他の事業 2】 助成金事業	1. ゴルフの普及振興を目的とした助成金事業

(6) 主たる事務所の状況

名称	所在地
公益社団法人日本パブリック ゴルフ協会事務局	東京都中央区銀座1-19-16 銀座昭和ビル2階B室

(7) 主要な借入先及び借入額

借入先	借入額	償還期限等
なし		

(8) 重要な契約に関する事項 : なし

(9) 会員に関する事項

① 会員数

単位: 団体

種類	前年度末	当年度末	増減
正会員	76	76	±0
賛助会員	10	11	+1
合計	86	87	+1

② 地区別正会員数

単位: 団体

東日本地区	中部日本地区	西日本地区	合計
37	9	30	76

③入退会の状況

単位:団体

	区分	会員数	会員名
退会	正会員	1	ムーンレイクゴルフクラブ鶴舞コース(東日本地区)
入会	正会員	1	那須伊王野カントリークラブ
入会	賛助会員	1	株式会社スポーツインダストリー

④会員数の推移

単位:団体

年度	正会員			賛助会員		
	入会	退会	会員数	入会	退会	会員数
2014年度	5	5	81	4	1	10
2015年度	3	1	83	2	1	11
2016年度	1	4	80	0	0	11
2017年度	0	4	76	0	1	10
2018年度	1	1	76	1	0	11

⑤正会員の變動

ア. 運営会社変更

会員名	新運営会社	旧運営会社
ROSE GOLF CLUB	サーガ株式会社	株式会社東条の森

イ. 会員名変更

会員	新会員名	旧会員名
正会員	ROSE GOLF CLUB	しがらきの森カントリークラブ

(10)職員に関する事項

2019年3月末現在

職名等	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局次長	中村 知則	2009年 4月 1日	競技担当	常勤
事務局課長	中村 敦史	2014年 8月21日	競技担当	常勤
一般事務	小路 美智代	2008年 5月 1日	経理担当	常勤
一般事務	田坂 陽介	2018年11月 1日	競技担当	常勤
一般事務	村松 洋子	2005年 3月14日	総務担当	常勤

(11)役員会等に関する事項

①社員総会

定時社員総会	開催日	開催場所
	2018年 6月21日	ホテルモントレ銀座(東京都)
(議事事項)		
決議事項	第1号議案 定款の変更(案)承認の件	
	第2号議案 役員改選(案)承認の件	
	第3号議案 2017年度事業報告(案)承認の件	
	第4号議案 2017年度財務諸表及び附属明細書並びに 財産目録(案)承認の件	
報告事項	第1号報告 2018年度事業計画の件	
	第2号報告 2018年度正味財産増減予算の件	

②理事会

	開催日	開催場所
第1回	2018年 5月30日	(決議省略)

第2回	2018年 6月21日	ホテルモントレ銀座(東京都)
第3回	2018年 6月21日	ホテルモントレ銀座(東京都)
第4回	2018年11月15日	コート・ベール徳島ゴルフクラブ(徳島県)
第5回	2019年 3月12日	ホテルトヨタキャッスル(愛知県)

③全国運営委員会

	開催日	開催場所
第1回	2018年 8月24日	ウイングあいち(愛知県)
第2回	2019年 2月15日	TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター(東京都)

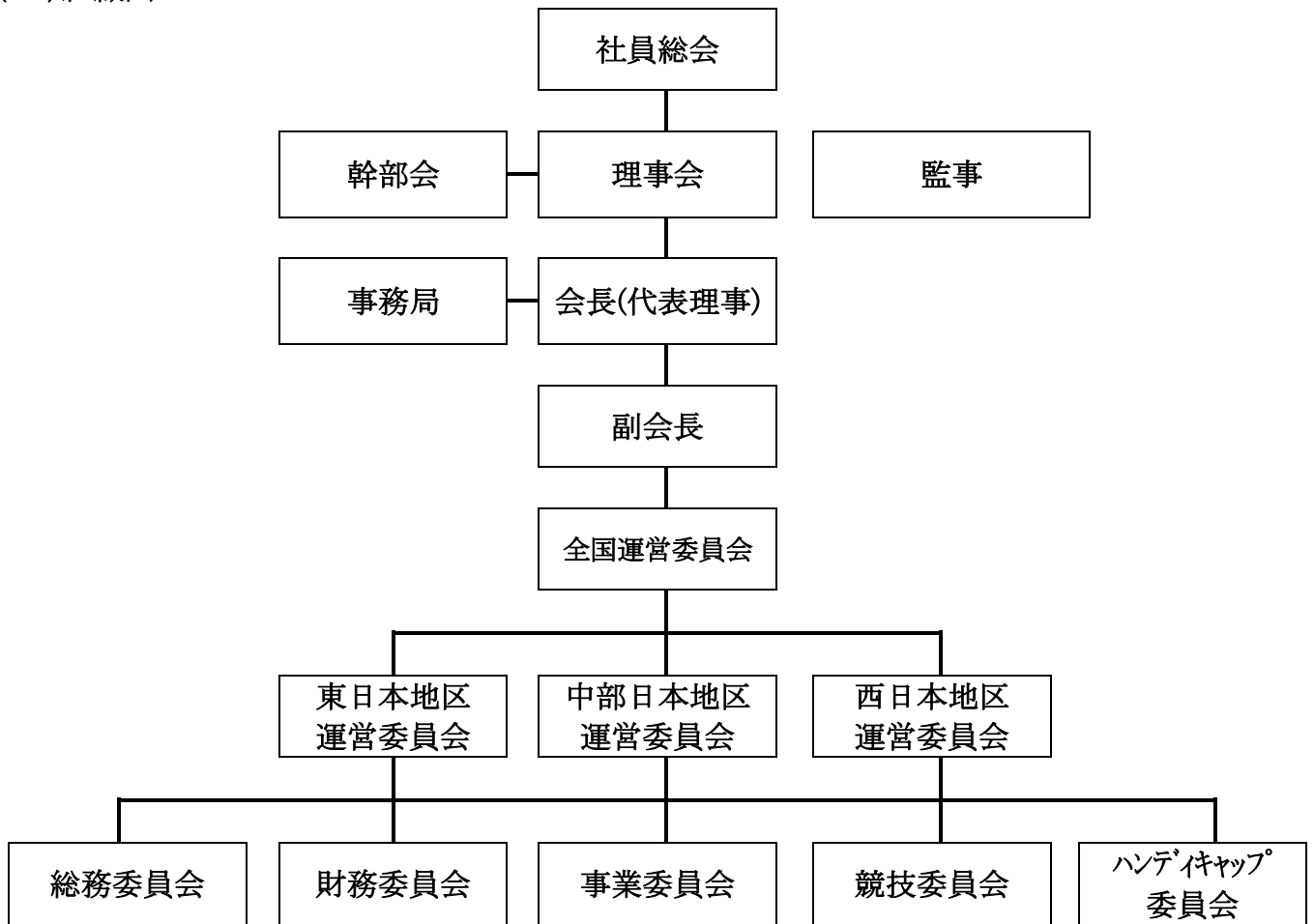
④スポンサー会議

	開催日	開催場所
第1回	2018年10月 5日	銀座フェニックスプラザ(東京都)

⑤会計監査

	開催日	開催場所
第1回	2019年 5月21日	協会事務局

(12)組織図



(13)許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	許可等年月日	備考
なし			

(14)株式の保有状況 :なし

(15)対処すべき課題

①競技参加者数の拡大

2018年度はスクラッチ競技11,977名(前年度対比883名減少、▲6.9%)、アンダーハンディ競技他13,935名、(前年度対比758名減少、▲5.2%)、合計は25,912名(前年度対比1,641名減少、▲6.0%)で、昨年実績を大きく下回る結果となった。好調なシニアを除く選手権競技の競技参加者数が減少したことが大きな原因であり、減少傾向に歯止めをかけるためにも協会未加盟コース(24コース)での開催会場をさらに拡大していく必要がある。

②JGA/USGA ハンディキャップインデックス取得者の拡大

当協会のJGA/USGAハンディキャップインデックス取得者は約1万6千名で、誰でも低廉な登録料で手軽に取得できる点から、多くのアマチュアゴルファーの支持を得ているが、取得者は減少傾向にある。

ハンディキャップインデックスのさらなる普及振興のため、新ハンディキャップシステムの特徴を活かした全日本スロープレートアンダーハンディ競技をゴルフ・ウィーク期間中の8月3日にス

ポーツ庁長官杯第3回ゴルフフェスタ全国大会(公益財団法人日本ゴルフ協会との共催)を兼ね、全国23コースで開催した。

③正会員・賛助会員の拡大

正会員100団体の実現は長年の課題であるが、直近の推移は2009年度の90団体をピークとして、2018年度末には76団体まで減少した。

係る状況から2012年度第4回理事会(2013年3月14日開催)において、「第8号議案正会員勧誘方針の件」を決義し、一層の会員勧誘活動に取り組んできたが、2019年度も引続き正会員の勧誘活動を積極的に推進する。

2. 役員等に関する事項

(1) 理事

2019年3月末現在

役職名	氏名	区分	任期	常勤・非常勤	報酬等
会長(代表理事)	三野 哲治	代表理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
副会長 事業委員会委員長	石井 信成	副会長	2018.6～2020.6	非常勤	無償
副会長 競技委員会委員長	加藤 義孝	副会長	2018.6～2020.6	非常勤	無償
副会長 ハンディキャップ委員会委員長	西村 潔	副会長	2018.6～2020.6	非常勤	無償
専務理事	安藤 充	専務理事	2018.6～2020.6	常勤	有償
総務委員会委員長	原澤 敦	常務理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
財務委員会委員長	大田 英二	常務理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
総務財務委員会副委員長	野上 廣治	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
総務財務委員会副委員長	藤井 崇彦	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
事業委員会副委員長	林 一郎	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
事業委員会副委員長	濱口 正明	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
事業委員会副委員長	六車 洋二郎	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
競技委員会副委員長	久保田 英示	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
ハンディキャップ委員会副委員長	西 治彦	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
ハンディキャップ委員会副委員長	小野 和彦	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
ハンディキャップ委員会副委員長	杉本 充	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
	伊藤 哲夫	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
	木村 妙子	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
	久保田 誠一	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
	小林 弘実	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
	濱野 周泰	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
	平山 伸子	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償
	雪野 智世	理事	2018.6～2020.6	非常勤	無償

注)理事の他の法人等の代表状況等、並びに兼職状況は「事業報告の附属明細書」に記載した。

(2) 監事

2019年3月31日現在

	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等
監事	根津 淳	2018.6～2020.6	非常勤	無償
監事	鯖尻 昌弘	2018.6～2020.6	非常勤	無償
監事	中村 一雄	2018.6～2020.6	非常勤	無償

以上3名

注)監事の他の法人等の代表状況等、並びに兼職状況は「事業報告の附属明細書」に記載した。

(3) 役員等の報酬等

区分	人数	報酬等の総額	備考
専務理事	1名	非公開(個人情報)	常勤

3. 会計監査人に関する事項

当協会は、会計監査人の設置義務なし(公益法人認定法第5条第12号)

4. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議

(1) 2016年度第2回理事会(2016年6月23日開催)にて決議

(2) 理事会決議の内容

企業統治体制「業務の適正を確保するための体制等の整備について」

① 企業統治体制の採用理由

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下、一般法という)(第90条第4項5)は、「業務の適正を確保するための体制」、いわゆる企業統治体制(内部統制システム)の構築を定めている。当協会は、ゴルフの普及振興という事業活動目的の下、社会からの信頼を得ることの重要性を認識し、適法・適正かつ効率的な事業活動を遂行するため、一般法および法務省令(法人法施行規則第14条)に基づき、「業務の適正を確保するための体制」を以下の通り定める。

② 業務の適正を確保するための体制の概要

業務執行に関しては、会長(代表理事)を含む、各事業部門を統括する常務理事があたっており、理事会の機能及び責任を明確にするとともに、急激な事業活動環境の変化に迅速に対応するため、当該企業統治の体制を採用する。

当協会の理事会は原則として年3回開催し、必要に応じて臨時理事会を開催しつつ、重要事項の決定、業務執行状況の監督を行っている。さらに、一般社員(会員)と利益相反が生じる怖れのない外部理事、並びに外部監事を確保し、事業活動の妥当性の監督強化を行っている。

監事については、会計業務に精通した者で構成されており、各監事及び内部監査機能を有機的に融合させ、企業統治の適正性の確保を図っている。なお、会計業務は外部の会計事務所に委託し、適正性を維持している。

以上により、現状の体制によって事業運営の透明性の確保、理事の第三者説明責任の遂行といった、企業統治の基本原則を順守できるものとする。

③ 「業務の適正を確保するための体制等の整備」の内容

ア. 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

(ア) 理事会を原則として年3回開催することに加え必要があるときは随時開催し、重要な業務執行に関する意思決定を行うとともに、理事の職務執行を監督する。

- (イ)法令等の遵守と企業倫理の徹底は事業活動の原点であるとの認識のもと、行動規範およびコンプライアンス規程を制定する。その内容について会長(代表理事)、並びに各理事が職員への周知を図り、法令遵守をあらゆる事業活動の前提とすることを徹底する。
 - (ウ)財務報告の適正性を確保するため、会長(代表理事)および理事は職員に対し、適正な財務諸表の作成が極めて重要性を有するものであることを、あらゆる機会に認識させるよう努めるものとする。また、財務諸表作成のプロセスにおいて、虚偽記載並びに誤謬等が生じないよう各職員が相互に牽制するシステムを構築するものとする。
 - (エ)監事は必要に応じて内部監査を行うことができるものとする。監査を実施した場合は、遅滞なく結果を会長(代表理事)に報告する。
- イ.理事の職務の執行に係る情報の保管および管理に対する体制
- 文書管理規程を定め、理事の職務の執行に係る理事会の議事録、決裁書類並びに契約書類は、文書または電磁的記録(以下、「文書等」という)により、それぞれ法令または規程に定める期間保存・管理する。
- ウ.損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- (ア)当協会を取り巻く様々な潜在的リスクについては、それらのリスクを分析しその特性に応じた対応策を講じるとともに、定期的にその有効性について評価し必要に応じて見直しを行う。
 - (イ)各理事は、自らの職務分掌範囲のリスク管理について責任を持つとともに、協会全体に及ぶリスクに対しては、必要に応じて専門委員会を設置し総合的な対応を図る。
- エ.理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- 定例の理事会を年3回開催するほか、必要に応じて臨時理事会を開催し、重要事項の決定および職務執行に関する基本事項の意思決定を機動的に行う。また、理事および職員が業務分掌・職務権限規程に基づき、職務の執行が適正かつ効率的に行われる体制をとるものとする。
- オ.職員の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- (ア)服務規程、コンプライアンス規程等を整備し、職員の法令・企業倫理の遵守を徹底する。
 - (イ)業務における適法・適正な手続き・手順を明示した規程類を整備し運用する。
 - (ウ)適法・適正な業務運営が行われていることを確認するため、内部監査機能による監査を実施する。
- カ.監事とその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
- 当協会において、監事の職務を補助すべき職員は当面配置しない。但し、監事会から当該職員の配置を求められた場合は、専任の担当者を配置し、かつ専任者の独立性を確保する体制とする。
- キ.監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性に関する事項
- (ア)監事補助スタッフの職務執行については、理事の指揮命令からの独立性を確保する。
 - (イ)監事補助スタッフの人事に関する事項については、必要に応じて監事の意見を尊重する。
- ク.理事および職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制
- (ア)理事および職員は、当協会に重大な影響を及ぼす事項、内部監査の実施状況に関する事項等の内容を、監事に速やかに報告する。
 - (イ)監事は必要に応じて監事会を開催し、業務執行理事並びに理事、その他使用人から随時個別にヒアリングする機会を設けることができるものとする。

(ウ) 重要な会議には監事の出席を求めるとともに、議事録を作成する場合は、これを監事に送付する。

ケ. 監事の監査が実行的に行われることを確保するための体制

(ア) 監事は業務執行状況を把握するため、理事会に出席するほか、必要に応じ重要な会議に出席できる。

(イ) 必要に応じて会長(代表理事)と監事との意見交換を実施するなど、当協会の業務の適正性確保のため必要な措置を講じることができるものとする。

5. その他の重要事項 :なし

■公益目的事業1 ゴルフ競技会開催事業

1. 開催競技及び競技参加者数

(1) 競技参加者数

競技			2017年度	2018年度	前年度比 (人数) (%)	
＜スクラッチ競技＞						
①アマ選 (アマ選、 女子アマ選)	男女別	男子	3,431	2,955	▲ 476	▲ 13.9%
		女子	552	352	▲ 200	▲ 36.2%
		計	3,983	3,307	▲ 676	▲ 17.0%
	地区別	東日本	2,059	1,778	▲ 281	▲ 13.6%
		中部日本	705	616	▲ 89	▲ 12.6%
		西日本	1,199	891	▲ 308	▲ 25.7%
		北海道・青森	14	14	0	0.0%
		全日本シード	6	8	2	33.3%
		計	3,983	3,307	▲ 676	▲ 17.0%
②シニア (シニア、女子シニア、 ミッドシニア、 グランドシニア)	男女別	男子	1,911	2,135	224	11.7%
		女子	348	362	14	4.0%
		ミッドシニア	1,080	1,105	25	2.3%
		グランドシニア	663	709	46	6.9%
		計	4,002	4,311	309	7.7%
	地区別	東日本	1,625	1,697	72	4.4%
		中部日本	1,283	1,379	96	7.5%
		西日本	1,079	1,210	131	12.1%
		全日本シード	15	25	10	66.7%
計		4,002	4,311	309	7.7%	
③ミッドアマ	男女別	男子	4,432	4,069	▲ 363	▲ 8.2%
		女子	443	290	▲ 153	▲ 34.5%
		計	4,875	4,359	▲ 516	▲ 10.6%
	地区別	東日本	2,543	2,092	▲ 451	▲ 17.7%
		中部日本	1,128	1,001	▲ 127	▲ 11.3%
		西日本	1,194	1,256	62	5.2%
		全日本シード	10	10	0	0.0%
		計	4,875	4,359	▲ 516	▲ 10.6%
◆スクラッチ競技計			12,860	11,977	▲ 883	▲ 6.9%
＜アンダーハンディ競技他＞						
①スポンサー杯 ／ハンディ杯	ダンロップ杯(含決勝)		2,857	3,139	282	9.9%
	ブリヂストン杯(含決勝)		1,697	2,012	315	18.6%
	サンレオ杯		623	582	▲ 41	▲ 6.6%
	ハンディ杯(含グランドマンズリー)		890	651	▲ 239	▲ 26.9%
②ドリーム・エイジ			725	526	▲ 199	▲ 27.4%
③その他						
・月例杯(西日本)			4,094	3,250	▲ 844	▲ 20.6%
(中部日本:うきうき旅ゴルフ)			302	381	79	26.2%

・クラブ対抗戦(東日本)	412	396	▲ 16	▲ 3.9%
(中部日本)	120	120	0	0.0%
(西日本)	—	154	154	—
・スロープレートアンダーハンディ競技	399	290	▲ 109	▲ 27.3%
・ダブルスクランブル	2,329	2,434	105	4.5%
・パブリックシングルス	245	—	▲ 245	▲ 100.0%
◆アンダーハンディ競技他計	14,693	13,935	▲ 758	▲ 5.2%
総計	27,553	25,912	▲ 1,641	▲ 6.0%

2.2018年度競技の改善点

(1) 他団体競技への出場資格の付与

2018年度競技より他団体主催の下記競技に対して出場資格が付与された。

- ①公益財団法人日本ゴルフ協会主催「日本グランドシニアゴルフ選手権競技」
全日本グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権の上位2名。
- ②一般社団法人関東ゴルフ連盟主催「関東グランドシニアゴルフ選手権予選」
東日本グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権の上位5名。(当該地区在住者)
- ③中部ゴルフ連盟主催「中部グランドシニアゴルフ選手権」
中部日本グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権の優勝者。(当該地区在住者)
- ④中部ゴルフ連盟主催「中部グランドシニアゴルフ選手権予選」
中部日本グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権の第2位～20位。(当該地区在住者)

(2) グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権地区決勝の新設

2018年度よりグランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権の地区決勝を新設した。

(3) 女子アマチュアゴルファーズ選手権、女子ミッドアマチュアゴルファーズ選手権開催方法の変更

2018年度より、女子アマチュアゴルファーズ選手権と女子ミッドアマチュアゴルファーズ選手権の地区決勝・全日本大会を同日・同一会場で開催した。

(4) 選手権競技予選通過者の繰上げ

2018年度より、東日本地区にて開催の3選手権競技予選通過者の中から出場辞退が生じた場合、地区決勝開催の3日前までカットラインからエントリー人数の10%の範囲で通過者を順次繰り上げることとした。

(5) 選手権競技予選メダリスト表彰の廃止

2018年度より、選手権競技の予選メダリスト表彰を廃止した。

(6) パブリックダブルスクランブルゴルフ選手権の変更

2018年度より下記の通り変更し、競技を開催した。

- ①全日本大会の新設。
- ②ダブルペリア部門の新設。
- ③全日本、地区決勝参加料の改定。1ペア12,960円

(7) PGSスポンサー杯・ハンディ杯参加資格の変更

2018年度より、東日本地区、中部日本地区にて開催のPGSスポンサー杯・ハンディ杯の参加資格を全てにJGA/USGAハンディキャップインデックス取得者に変更した。

3. 競技開催実績

(1) 参加資格

競技名	参加資格	年齢資格
＜スクラッチ競技＞		
①アマ選 (アマ選・女子アマ選)	1.ハンディキャップ20.0程度以上が望ましい 2.日本ゴルフ協会ゴルフ規則に規定されたアマチュアゴルファー 3.高等学校までに在学の生徒は、学校長・保護者等責任者の参加許可証の提出が必要	なし
②シニア (シニア)		男子55歳以上
(女子シニア)		女子50歳以上
(ミッドシニア)		男子65歳以上
(グランドシニア)		男子70歳以上
③ミッドアマ		男女とも25歳以上
＜アンダーハンディ競技＞		
①スポンサー杯／ハンディ杯	JGA/USGA ハンディキャップインデックス取得者 ※西日本地区のみ PGS 会員限定	なし
②ドリーム・エイジ	なし	男子65歳以上 女子60歳以上
③その他		
・月例杯 (中部日本、西日本)	PGS会員でJGA/USGAハンディキャップインデックス取得者 ※中部日本地区月例杯のダブルペリア部門はPGS会員並びにJGA/USGAハンディキャップインデックス取得を目指す者	なし
・クラブ対抗戦 (東日本、中部日本、西日本)		
・スロープレート競技	JGA/USGA ハンディキャップインデックス取得者	なし
・ダブルス ①スクラッチの部 ②ダブルペリアの部	ペア(男女問わず)	なし

※PGS 会員:JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取得を目的とした会員組織で、誰でも会員になれる。

(2) 競技の概要

＜スクラッチ競技＞

①全日本アマチュアゴルファーズ選手権

ア. 2018年度(第52回)全日本アマチュアゴルファーズ選手権

(ア) 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	33	13	29	75
参加者数(名)	1,642	554	742	2,938

(イ)地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本 A	那須野ヶ原カントリークラブ	5/ 5(土)-6(日)	180
2.東日本 B	丘の公園清里ゴルフコース	5/23(水)-24(木)	160
3.東日本 C	デイスターゴルフクラブ	5/ 9(水)-10(木)	174
4.中部日本	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	5/22(火)-23(水)	177
5.西日本	武庫ノ台ゴルフコース	5/23(水)-24(木)	164
合計			855

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	グレースリッジカントリークラブ	6/13(水)-14(木)	153

イ. 2018年度(第18回)全日本女子アマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア)予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	13	—	14	27
参加者数(名)	139	—	145	284

(イ)地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	ウィンザーパーク ゴルフ アンド カントリークラブ	5/ 9(水)-10(木)	64
2.中部日本	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	5/ 9(水)-10(木)	57
3.西日本	奥津ゴルフ倶楽部	5/ 9(水)-10(木)	108
合計			229

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	ダンロップゴルフコース	5/30(水)-31(木)	102

②全日本シニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

ア. 2018年度(第24回)全日本シニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア)予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	24	12	22	58
参加者数(名)	918	641	554	2,113

(イ)地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	八千代ゴルフクラブ	5/17(木)-18(金)	138
2.中部日本	名古屋広幡ゴルフコース	4/26(木)-27(金)	125
3.西日本	北神戸ゴルフ場	5/15(火)-16(水)	138
合計			401

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	浜野ゴルフクラブ	6/27(水)-28(木)	127

注)シニア、グランドシニア : 同日同会場で全日本大会を開催

イ. 2018年度(第24回)全日本女子シニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア) 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	12	6	11	29
参加者数(名)	147	90	110	347

(イ) 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	鹿島南蓼科ゴルフコース	9/26(水)-27(木)	48
2.中部日本	アリジカントリークラブ 花垣コース	9/25(火)-26(水)	38
3.西日本	青野運動公苑アオノゴルフコース	9/26(水)-27(木)	43
合計			129

(ウ) 全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場	10/10(水)-11(木)	43

注) 女子シニア、ミッドシニア : 同日同会場で地区決勝及び全日本大会を開催

ウ. 2018年度(第15回)全日本ミッドシニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア) 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	19	9	21	49
参加者数(名)	389	368	326	1,083

(イ) 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	鹿島南蓼科ゴルフコース	9/26(水)-27(木)	123
2.中部日本	アリジカントリークラブ 花垣コース	9/25(火)-26(水)	126
3.西日本	青野運動公苑アオノゴルフコース	9/26(水)-27(木)	117
合計			366

(ウ) 全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場	10/10(水)-11(木)	132

注) 女子シニア、ミッドシニア : 同日同会場で地区決勝及び全日本大会を開催

エ. 2018年度(第2回)全日本グランドシニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア) 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	17	12	20	49
参加者数(名)	231	266	207	704

(イ) 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	八千代ゴルフクラブ	5/17(木)-18(金)	40
2.中部日本	名古屋広幡ゴルフコース	4/26(木)-27(金)	54
3.西日本	北神戸ゴルフ場	5/15(火)-16(水)	54
合計			148

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	浜野ゴルフクラブ	6/27(水)-28(木)	39

注)シニア、グランドシニア：同日同会場で全日本大会を開催

③全日本ミッドアマチュアゴルフフェーズ選手権

ア. 2018年度(第12回)全日本ミッドアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア)予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	37	14	31	82
参加者数(名)	1,932	955	1,166	4,053

(イ)地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本 A	千葉よみうりカントリークラブ	7/28(土)-29(日)	165
2.東日本 B	JGM 宇都宮ゴルフクラブ	7/25(水)-26(木)	176
3.中部日本	亀山ゴルフクラブ	7/25(水)-26(木)	161
4.西日本	グランドオークプレイヤーズコース	7/24(火)-25(水)	169
合計			671

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	よみうりゴルフウエストコース	9/18(火)-19(水)	143

イ. 2018年度(第12回)全日本女子ミッドアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア)予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	13	—	8	21
参加者数(名)	155	—	83	238

(イ)地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	ウィンザーパークゴルフアンドカントリークラブ	5/9(水)-10(木)	79
2.中部日本	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	5/9(水)-10(木)	40
3.西日本	奥津ゴルフ倶楽部	5/9(水)-10(木)	55
合計			174

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	ダンロップゴルフコース	5/30(水)-31(木)	76

<アンダーハンディ競技>

①PGSスポンサー杯/PGSハンディ杯

ア. 予選

(ア)開催数

予選数		東日本	中部日本	西日本	合計
PGSスポンサー杯	ダンロップ杯	16	8	19	43
	ブリヂストン杯	10	7	7	24
	サンレオ杯	5	4	4	13
PGSハンディ杯		0	5	0	5
合計		31	24	30	85

(イ)参加者数

		東日本	中部日本	西日本	合計(名)
PGSスポンサー杯	ダンロップ杯	1,251	609	933	2,793
	ブリヂストン杯	788	610	325	1,723
	サンレオ杯	257	201	124	582
PGSハンディ杯		—	297	—	297
合計		2,296	1,717	1,382	5,395

イ. 地区決勝

(ア)ダンロップ杯

地区	開催コース	開催日	エントリー人数
東日本	下館ゴルフ倶楽部	11/ 7(水)	118
中部日本	正眼寺カントリークラブ	11/14(水)	114
西日本	北神戸ゴルフ場	11/13(火)	114
合計			346

(イ)ブリヂストン杯

地区	開催コース	開催日	エントリー人数
東日本	千葉よみうりカントリークラブ	2019/3/1(金)	133
中部日本	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	10/25(水)	122
西日本	大阪パブリックゴルフ場	11/27(月)	34
合計			289

(ウ)グランドマンスリー

地区	開催コース	開催日	エントリー人数
東日本	新君津ベルグリーンカントリー倶楽部	11/21(火)	128
中部日本	名古屋広幡ゴルフコース	11/14(火)	152
西日本	京都大原パブリックコース	11/ 2(木)	74
合計			354

②PGSドリーム・エイジゴルフ大会

高齢者の健康の保持増進への寄与は当協会の事業目的の一つであり、2009年度より「PGSドリーム・エイジゴルフ大会」がスタートした。競技は男子65歳以上、女子60歳以上のゴルファーを対象とし、年齢ハンディキャップによる18ホールストロークプレーで競い、ゴルフと健康を結びつけたユニークな競技である。また、2011年度よりゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の後援を、2015年度より公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟の協賛を受けている。東日本地区では2017年度より、スロープレート方式を用いて複数コースで同時開催。また東日本、中

部日本地区では、2017年度より新設したペア戦も開催した。

ア. 予選

(ア)開催数

予選開催数	東日本	中部日本	西日本	合計
個人戦	3(9会場)	9	5	17
ペア戦	2(4会場)	1	—	3
合計	5(13会場)	10	5	20

※18ホール・ストロークプレー

(イ)参加者数

	東日本	中部日本	西日本	合計
個人戦	149	102	120	371
ペア戦	38	8	—	46
合計	187	110	120	417

イ. 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)		
			個人	ペア	合計
東日本	八千代ゴルフクラブ	11/ 8(木)	31	—	31
中部日本	定光寺カントリークラブ	10/18(木)	34	8	42
西日本	つるやカントリークラブ 西宮北コース	11/ 1(木)	36	—	36
合計			101	8	109

※18ホール・ストロークプレー

【参考:PGSドリーム・エイジゴルフ大会チャリティ募金寄贈】

2018年度PGSドリーム・エイジゴルフ大会のチャリティ募金額は189,170円となった。参加者の善意は、予選コース最寄りの社会福祉団体、および東日本復興支援財団に寄贈した。

③その他

ア. 月例杯

(ア)PGS西日本月例杯

- A. 開催会場 :西日本地区会員コース
- B. 参加資格 :PGS会員でJGA/USGAハンディキャップインデックスの取得者
- C. 競技方法 :18ホール・ストロークプレー(アンダーハンディ競技)
- D. 参加者数

開催数	79開催
参加人数	3,250名(男子:2,944名、女子:306名)

(イ)PGS中部日本月例杯(みんなであきき旅ゴルフ)

◆予選

- A. 開催会場 :中部日本地区会員9コース
- B. 参加資格 : (a)アンダーハンディ競技 :PGS会員でJGA/USGAハンディキャップインデックスの取得者
(b)ダブルペリア競技 :PGS会員、及びJGA/USGAハンディキャップインデックス取得を目指すアマチュアゴルファー
- C. 競技方法 : (a)18ホール・ストロークプレー(アンダーハンディ競技)
(b)ダブルペリア競技

D. 参加者数

	アンダーハンディ競技		ダブルペリア競技		合計
	男子	女子	男子	女子	
参加人数(名)	189	39	87	35	350

◆決勝

- A. 開催日 : 2019年3月20日(水)
- B. 開催会場 : 定光寺カントリークラブ
- C. 参加資格 : 予選通過者、及び特典(多回数参加者)によるシード選手
- D. 競技方法 : 18ホール・ストロークプレー(アンダーハンディ競技)
- E. 参加者数 : 男性23名、女子8名、合計31名

イ. クラブ対抗戦

(ア) PGS東日本クラブ対抗戦

◆ブロック予選

- A. 参加資格: 東日本地区会員コースの何れかでPGS会員登録をし、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得しているアマチュアゴルファー
- B. 競技方法
 - (a) 18ホールストローク・アンダーハンディ競技(JGA/USGA ハンディキャップインデックス)
 - (b) ハンディキャップの下限 : 男子部門20.0、女子部門30.0
 - (c) 順位決定 : 男子部門は出場選手の内、上位5名のネットスコア合計による
女子部門は出場選手の内、上位3名のネットスコア合計による

C. 開催日・会場・出場クラブ

ブロック	出場クラブ	ブロック予選	開催日
Aブロック	古河、ウインザーパーク、下館、オールドオーチャード、サンクチュアリ霞南、紫あやめ36	オールドオーチャードゴルフクラブ	10月4日
Bブロック	那須野ヶ原、イーストウッド、ハーモニーヒルズ、JGM 宇都宮、新玉村、前橋、朝霞、妻沼、三井の森	妻沼ゴルフ場	10月2日
Cブロック	市原、市原・柿の木台、ムーンレイク鶴舞、千葉よみうり、八千代、ムーンレイク市原、新君津、デイスター、ムーンレイク茂原	ムーンレイクゴルフクラブ茂原コース	10月4日
Dブロック	昭和の森、清里、小淵沢、富士見高原、ウィーゴ、富士グリーンヒル、鹿島南蓼科、富士ヘルス	富士見高原ゴルフコース	10月5日

D. ブロック予選代表チーム

各ブロック2クラブ(1クラブ男子部門8名、女子部門5名)

注) 決勝大会開催コース、前年度優勝クラブが上位2クラブに入賞した場合は、繰り下げて出場資格を付与する。

E. 参加者数

ブロック	クラブ数	男子	女子	合計
Aブロック	9	38	20	58
Bブロック	16	68	32	100
Cブロック	18	82	34	116
Dブロック	台風のため中止			
予選計	43	188	86	274
決勝	20	76	46	122
合計	63	264	132	396

◆決勝大会

- A. 開催会場 :ウィーゴカントリー倶楽部(長野県)
- B. 開催日 :前夜祭 2018年10月29日(月)
クラブ対抗戦 10月30日(火)
- C. 参加資格 :①PGS 東日本各ブロック予選の男女各上位2クラブ
②決勝大会開催クラブ、及び前年度優勝クラブより各男女2クラブ
- D. チーム編成 :1クラブ 男子部門8名・女子部門5名
- E. 競技方法 :ブロック予選と同様
- F. 参加者数 :別掲の通り

(イ)PGS中部日本ゴルフ場対抗戦

- A. 開催会場 :アリジカントリークラブ 花垣コース(三重県)
- B. 開催日 :前夜祭 2018年3月14日(水)
クラブ対抗戦 3月15日(木)
- C. 参加チーム : PGS 中部日本9コースより15チーム
- D. チーム編成 :1チーム8名(男女混合)
- F. 参加者数 :120名

(ウ)西日本パブリックゴルフ場チーム対抗戦

- A. 開催会場 :よみうりカントリークラブ(兵庫県)
- B. 開催日 :2018年4月16日(月)
- C. 参加チーム : PGS 西日本コースを中心に20チーム
- D. チーム編成 :1チーム5名以上8名まで(55歳以上のシニア1名を含む)
- F. 参加者数 :154名

ウ. 全日本スロープレートアンダーハンディ競技

- A. 開催日時 : 2018年8月3日(金)午前8時3分一斉スタート
- B. 開催会場 : 23コース(東日本11コース、中部日本8コース、西日本4コース)
- C. 参加資格 : JGA/USGA ハンディキャップを所持するアマチュアゴルファー
- D. 参加者数 : 290名
- E. 競技方法 : 18ホールストロークプレー(アンダーハンディ競技)
スロープレーティングに基づく全開催コース、全出場者による1競技
- F. 後援 : 公益財団法人日本ゴルフ協会、東北ゴルフ連盟、関東ゴルフ連盟、
中部ゴルフ連盟、関西ゴルフ連盟、四国ゴルフ連盟
- G. その他 : 「スポーツ庁長官杯第3回ゴルフフェスタ全国大会(公益財団法人日本ゴルフ協会、公益社団法人日本パブリックゴルフ協会共催)」を兼ねて開催

し、全国74コース(PGS:23、JGA:51)で1,980名が参加した。

4.他団体競技のシード権の追加

公益財団法人日本ゴルフ協会(JGA)、関東ゴルフ連盟(KGA)他8連盟等にシード権の追加申請をし、下記のシード権が付与された。

[2018年度新規認可]

- 日本ゴルフ協会 : 日本グランドシニアゴルフ選手権競技(全日本グランドシニア上位2名)
- 関東ゴルフ連盟 : 関東グランドシニアゴルフ選手権予選(東日本グランドシニア1~5位)
- 中部ゴルフ連盟 : 中部グランドシニアゴルフ選手権(中部日本グランドシニア1位)
- 中部ゴルフ連盟 : 中部グランドシニアゴルフ選手権予選(中部日本グランドシニア2~20位)

【2018年度他団体主催競技シード権一覧】

◆アマチュア選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2018年度	備考	
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本アマチュアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない	
		中部ゴルフ連盟	当年度	中部オープンゴルフ選手権決勝	1位	中部地区在住者	
翌年度	中部アマチュアゴルフ選手権決勝		1位				
<地区決勝>	北海道	北海道ゴルフ連盟	翌年度	北海道アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	北海道在住者	
			翌年度	北海道アマチュアゴルフ選手権予選	2~10位	北海道在住者 ※10位タイまで	
			翌年度	北海道オープンゴルフ選手権	1位	北海道在住者	
		東北ゴルフ連盟	翌年度	東北アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	倶楽部メンバー	東北地区在住者
			翌年度	東北アマチュアゴルフ選手権決勝	上位2名	上位2名	
			翌年度	東北アマチュアゴルフ選手権決勝	倶楽部メンバー	上位3~10位	宮城県在住者
	関東ゴルフ連盟	翌年度	東北アマチュアゴルフ選手権青森県予選	倶楽部メンバー	上位3~10位	青森県在住者	
		翌年度	関東アマチュアゴルフ選手権ブロック大会	1位	1位	関東地区在住者またはKGA加盟正会員倶楽部会員(正会員、平日会員)	
		翌年度	関東アマチュアゴルフ選手権予選	2~10位	2~10位		
	北海道日刊スポーツ新聞社	翌年度	日刊ア全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権北海道大会	上位2名	上位2名	北海道在住者	
		日刊スポーツ新聞社	当年度	日刊ア全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権関東決勝	1~2位	男子のみ	
	中部日本	中部ゴルフ連盟	当年度	中部オープンゴルフ選手権決勝	1位	中部地区在住者	
			当年度	中部オープンゴルフ選手権予選	2~30位		
			翌年度	中部アマチュアゴルフ選手権決勝	1位		
			翌年度	中部アマチュアゴルフ選手権予選	2~30位		
西日本	関西ゴルフ連盟	翌年度	関西アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	関西地区在住者		
		翌年度	関西アマチュアゴルフ選手権予選	2~10位	2~10位		
	サンケイスポーツ	当年度	近畿オープン	1位	関西地区在住者		
	中国ゴルフ連盟	翌年度	中国アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	中国地区在住者		
	四国ゴルフ連盟	翌年度	四国アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	四国地区在住者		
	九州ゴルフ連盟	翌年度	九州アマチュア選手権決勝	1位	九州・沖縄在住者		
翌年度	九州アマチュア選手権一次予選	2~5位	2~5位				

◆女子アマチュア選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2018年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本女子アマチュアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
		中京TV・BS(公認LPGA)	翌年度	中京テレビ・ブリヂストンレディスオープン主催者推薦選考会	1位	
<地区決勝>	東日本	東北ゴルフ連盟	翌年度	東北女子アマチュアゴルフ選手権	1位	東北地区在住者
		関東ゴルフ連盟	翌年度	関東女子ゴルフ選手権予選	1~5位	関東地区在住者
	中部日本	中部ゴルフ連盟	翌年度	中部女子アマチュアゴルフ選手権	1~20位	中部地区在住者
		関西ゴルフ連盟	翌年度	関西女子アマチュアゴルフ選手権競技	1位	関西地区在住者
	西日本	四国ゴルフ連盟	翌年度	四国女子アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	四国地区在住者

◆ミッドアマ選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2018年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本ミッドアマチュアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
		中部ゴルフ連盟	翌年度	中部ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	中部地区在住者
<地区決勝>	東日本AB	北海道ゴルフ連盟	翌年度	北海道ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	北海道在住者
			翌年度	北海道ミッドアマチュアゴルフ選手権予選	2～10位	北海道在住者 ※10位タイまで
		東北ゴルフ連盟	当年度	東北ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	東北地区在住者 /ノ倶楽部メンバー 上位2名
			翌年度	関東ミッドアマチュアゴルフ選手権予選	1～5位	
		北海道日刊スポーツ新聞社	翌年度	日刊全日本シニアゴルフ選手権北海道大会	上位2名	北海道在住者(男子のみ)
			当年度	中部ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	中部地区在住者
	中部日本	中部ゴルフ連盟	当年度	中部ミッドアマチュアゴルフ選手権予選	2～20位	
			当年度	関西ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	関西地区在住者
西日本	四国ゴルフ連盟	当年度	四国ミッドアマチュアゴルフ選手権	1位	四国地区在住者	

◆女子ミッドアマ選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2018年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本女子ミッドアマチュアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
<地区決勝>	東日本	東北ゴルフ連盟	翌年度	東北女子ミッドアマチュアゴルフ選手権	1位	東北地区在住者
		関東ゴルフ連盟	翌年度	関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権予選	1～5位	関東地区在住者またはKGA加盟正会員倶楽部会員(正会員、平日会員)
	中部日本	中部ゴルフ連盟	当年度	中部女子ミッドアマチュアゴルフ選手権	1～10位	中部地区在住者
	西日本	関西ゴルフ連盟	当年度	関西女子ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝	1位	関西地区在住者

◆シニア選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2018年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本シニアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
		中部ゴルフ連盟	翌年度	中部シニアゴルフ選手権	1位	中部地区在住者
<地区決勝>	東日本	東北ゴルフ連盟	翌年度	東北シニアゴルフ選手権	1位	東北地区在住者
		関東ゴルフ連盟	翌年度	関東シニアゴルフ選手権予選	1～5位	関東地区在住者またはKGA加盟正会員倶楽部会員(正会員、平日会員)
	中部日本	中部ゴルフ連盟	翌年度	中部シニアゴルフ選手権決勝	1位	中部地区在住者
			翌年度	中部シニアゴルフ選手権予選	2～20位	
	西日本	関西ゴルフ連盟	翌年度	関西シニアゴルフ選手権決勝	1位	関西地区在住者
		四国ゴルフ連盟	当年度	四国シニアゴルフ選手権決勝	1位	四国地区在住者

◆女子シニア選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2018年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	翌年度	日本女子シニアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
<地区決勝>	東日本	東北ゴルフ連盟	翌年度	東北女子シニアゴルフ選手権	1位	東北地区在住者
		関東ゴルフ連盟	翌年度	関東女子シニアゴルフ選手権予選	1～5位	関東地区在住者またはKGA加盟正会員倶楽部会員(正会員、平日会員)
	中部日本	中部ゴルフ連盟	翌年度	中部女子シニアゴルフ選手権	1～20位	中部地区在住者
	西日本	関西ゴルフ連盟	翌年度	関西女子シニアゴルフ選手権	1位	関西地区在住者

◆ミッドシニア選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2018年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本ミッドシニアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
		中部ゴルフ連盟	翌年度	中部ミッドシニアゴルフ選手権	1位	中部地区在住者
<地区決勝>	東日本	関東ゴルフ連盟	翌年度	関東ミッドシニアゴルフ選手権予選	1～5位	関東地区在住者またはKGA加盟正会員倶楽部会員(正会員、平日会員)
			翌年度	中部ミッドシニアゴルフ選手権	1位	中部地区在住者
	中部日本	中部ゴルフ連盟	翌年度	中部ミッドシニアゴルフ選手権予選	2～20位	中部地区在住者
			翌年度	四国ミッドシニアゴルフ選手権決勝	1位	四国地区在住者

◆グランドシニア選手権

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2018年度	備考
<全日本大会>	全日本	日本ゴルフ協会	当年度	日本グランドシニアゴルフ選手権	上位2名	上位2名が有資格者の場合、資格の繰り下げは行わない
		中部ゴルフ連盟	当年度	中部グランドシニアゴルフ選手権	1位	中部地区在住者
<地区決勝>	東日本	関東ゴルフ連盟	翌年度	関東グランドシニアゴルフ選手権予選	1～5位	関東地区在住者またはKGA加盟正会員倶楽部会員(正会員、平日会員)
			当年度	中部グランドシニアゴルフ選手権	1位	中部地区在住者
	中部日本	中部ゴルフ連盟	当年度	中部グランドシニアゴルフ選手権予選	2～20位	中部地区在住者

◆グランドマンスリー

競技会	地区	主催団体	年度	競技会名	2018年度	備考
<地区決勝>	当該地区	日本ゴルフ協会	当年度	JGA杯J-sysゴルフ選手権	4名	男女各2名

5.機関紙の発行

創刊45年目を迎えた「PGSニュース」は、第86号(64ページ)を3月1日付にて発行した。当協会主催競技に関して、競技開催案内、年間競技スケジュール、競技の様様、競技成績等を盛り込んだ。機関紙発行事業は2014年度より独立行政法人日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けており、2018年度は21,500部を印刷、配付することができた。また2018年9月より、助成事業である「PGSニュース」に連動させる形でメールマガジンを月2回程度配信。PGS主催競技を始め、ゴルフに関する情報をアマチュアゴルファーに提供した。

■公益目的事業2 ゴルフ普及振興事業

1.セミナー・研修事業

(1)2018年度セミナー事業

日時	2018年6月21日(木)	場所	ホテルモンテ銀座
テーマ	R&AとUSGA等が取り組む世界的なゴルフ振興プログラム		
講師	公益財団法人日本ゴルフ協会 専務理事 山中 博史		

(2)グリーンキーパー研修会

日時	2018年8月8日(水)	場所	ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場
テーマ	5年前と今の管理の違いについて		
講師	ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場 前田 宗明		
テーマ	①瓦砕石による暗渠排水工事 ②グリーンのスズメのカタバシ対策(新剤の試験)		
講師	定光寺カントリークラブ 両角 聡士		

(3)ルール講習会

日時	2018年12月17日(月)		
場所	那須野ヶ原カントリークラブ		
内容	2019年新ゴルフ規則説明会		
講師	市村 元(公益財団法人日本ゴルフ協会 規則統括部長)		
日時	2018年12月18日(火)		
場所	那須野ヶ原カントリークラブ		
内容	PGSルールスクール		
講師	神戸 誠(全国競技副委員長)他		

2.交流・協力事業

ゴルフ界を取り巻く環境は厳しいが、ゴルフ市場活性化のためにゴルフ界諸団体は連携・協力して様々な活動を展開する必要がある。この様な観点からゴルフ界諸団体と連携・協力して、ゴルフ市場の活性化に向けた活動を展開する。

(1)日本ゴルフサミット会議

①日本ゴルフサミット会議参加

	開催日	開催場所
2018年第2回	2018年 7月26日(木)	AP 東京八重洲通り
2018年第3回	2018年11月27日(火)	AP 東京八重洲通り
2019年第1回	2019年 1月16日(水)	ANA インターコンチネンタルホテル東京

②ゴルフ新年会の開催

	開催日	開催場所
ゴルフ新年会	2019年 1月16日(水)	ANA インターコンチネンタルホテル東京

③日本ゴルフサミット会議 運営会議参加(毎月1回)

(2)ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)

①当協会はゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の構成メンバーとして、「はじめよう、続けよう、も

「つとゴルフを」をスローガンにゴルフ業界の活性化に向けた活動をしている。近年は、20代・30代の若年層ゴルファーのゴルフ実施率を引き上げるべく様々な取組みを実施しており、当協会も各団体と連携し活動を行った。

- ②定例委員会への参加(毎月1回)
- ③ゴルフ市場活性化セミナーへの参画
- ④関西地区ゴルフ市場活性化委員会(関西 GMAC)への参加(毎月1回)

(3)NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)

同協議会の構成メンバーとして、ジュニアゴルファーの育成に連携して活動した。

(4)ジャパンゴルフフェア2019の後援・ブース出展

一般社団法人日本ゴルフ用品協会主催の第53回ジャパンゴルフフェア2019が、2019年3月22日(金)～24日(日)の3日間、パシフィコ横浜において開催された。当協会は本イベントを後援するとともに、ブース出展を通じて事業活動のPRを実施した。

3.調査・研究事業

(1)調査事業

【調査・研究実績】

年度	調査・研究内容
2018年度	2018年度使用ボール調査 【対象】ミッドアマ(男女)、ダブルスクランブル

4. 他団体との協賛・後援

(1)一般社団法人日本ゴルフ用品協会に対し後援 :第53回ジャパンゴルフフェア2019

(2)日本ゴルフサミット会議に対し協賛 :2019年ゴルフ新年会

(3)他団体競技の後援

競技名	主催者
第40～41回アオノジュニアゴルフ大会	青野運動公苑アオノゴルフコース
第33～35回すきっぷ 21:アオノ親子ゴルフ大会	青野運動公苑アオノゴルフコース
第51回日本女子プロゴルフ選手権大会コニカミノルタ杯	日本女子プロゴルフ協会
日刊アマゴルフ2018 全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権北海道大会、 全日本レディースゴルフ選手権北海道大会	北海道日刊スポーツ新聞社
SPORTEC2018	SPORTEC 実行委員会
第10回ウッドフレンズレディース アマ・プロゴルフ選手権競技 女子アマチュアの部	ウッドフレンズ 名古屋港ゴルフ倶楽部
第53回ジャパンゴルフフェア2019	日本ゴルフ用品協会
2018東日本アマチュアダブルスクランブルゴルフ選手権	(株)スポーツインダストリー

■その他の事業1 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業

1.ハンディキャップ普及振興事業

(1)JGA/USGAハンディキャップインデックス取得者について

当協会のJGA/USGAハンディキャップインデックス取得者は約16,000名で、高額なゴルフ会員権の取得を必要とせず、誰でも低廉な登録料でPGS会員になることにより、手軽に取得できる点から多くのアマチュアゴルファーの支持を得ている。

【参考:JGA/USGAハンディキャップインデックス取得者の推移】

単位:名

2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
24,974	23,371	20,137	19,468	18,023
2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	(前年度比)
18,145	16,958	15,516	15,833	317

【参考:JGA/USGAハンディキャップインデックスの導入状況】

2006年4月現在(導入率72%)

	東	中部	西	合計
会員数	33	11	42	86
JGA採用	31	10	21	62

2019年3月現在(導入率97%)

	東	中部	西	合計
	37	9	30	76
	36	9	29	74

(2)競技開催実績

新規ゴルファーの獲得を目指すとともに、更なるハンディキャップの普及につなげようと、2016年度からペアで気軽に楽しめるダブルス競技を開催している。2018年度は「スクラッチの部」、「ダブルペリアの部」の2部門で開催した。

①ダブルススクランブル選手権

ア.参加資格:特になし

イ.競技方法:18ホール・オリジナルスクランブル方式によるダブルス戦

ウ.開催数

予選:19開催(東日本12、中部日本4、西日本3)

地区決勝:5開催(東日本3、中部日本1、西日本1)

全日本:1開催

エ.参加者数

予選:1,500名(東日本752、中部日本384、西日本364)

地区決勝:706名(東日本396、中部日本150、西日本160)

全日本:228名

合計:2,434名

2. JGAコースレート査定事業

公平な統一ハンディキャップであるJGA/USGAハンディキャップインデックスの普及振興のためには、その前提としてゴルフ場のコースレーティングが正確に査定されている必要がある。当協会はコースレート査定を管轄する公益財団法人日本ゴルフ協会(JGA)に対してコースレート査定を希望する会員パブリックゴルフ場の依頼に基づき、同協会への申請窓口として機能している。

2018年度は、以下のコースでコースレート査定を実施した。

【コースレート査定実施コース】

コース名	理由	査定日	有効期限
マスターズゴルフ倶楽部	15年経過	2018.6.11	2028 年末
ウィーゴカントリー倶楽部	15年経過	2018.7.6	
名古屋広幡ゴルフコース	15年経過	2018.9.12	
水島ゴルフリンクス	15年経過	2018.10.4	
那須野ヶ原カントリークラブ	15年経過	2018.12.4	

■その他の事業2 助成金事業

本事業はゴルフの普及振興のために活動する団体に対して、助成金事業を実施するものである。

1.NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)

当協議会はゴルフをツールに児童・青少年の健全な育成を目的に活動している。ジュニアゴルファーの育成は青少年の健全育成、並びにゴルファーの底辺拡大の観点から首肯でき、同協議会の活動目的に賛同して助成金事業を実施し活動をバックアップしてきた。2011～2012年度は休止したが、2013年度より復活した。

■むすび

1.2018年度事業の回顧と今後の展望

2018年度はスクラッチ競技11,977名(前年度対比883名減少、▲6.9%)、アンダーハンディ競技他13,935名、(前年度対比758名減少、▲5.2%)、合計は25,912名(前年度対比1,641名減少、▲6.0%)で、昨年実績を大きく下回る結果となった。

今後も、関係団体との連携・協力をより一層深め、競技会の充実を図り競技ゴルファーの拡大を目指していきたい。

以上

事業報告書の附属明細書

■役員以外の法人等の業務執行理事との重要な兼職の状況

2019年3月現在

区分	氏名	兼職先法人等	兼職の内容	関係
理事(代表理事)	三野 哲治	住友ゴム工業株式会社	相談役	
理事	石井 信成	株式会社那須野ヶ原カントリークラブ	代表取締役社長	
理事	加藤 義孝	東名ゴルフ株式会社	代表取締役社長	
理事	西村 潔	株式会社京阪ゴルフ倶楽部	代表取締役	
理事	原澤 敦	読売ゴルフ株式会社	代表取締役社長	
理事	大田 英二	株式会社チュウブ	代表取締役会長	
理事	藤井 崇彦	柏泉グリーン開発株式会社	代表取締役社長	
理事	六車洋二郎	株式会社コート・ベール徳島	代表取締役社長	
理事(専務理事)	安藤 充	公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟	理事	
理事	伊藤 哲夫	伊藤公認会計士事務所	公認会計士	
理事	平山 伸子	公益財団法人日本ゴルフ協会	理事	
監事	根津 淳	株式会社ウィーゴカントリー倶楽部	代表取締役社長	

注)当協会にとって兼職先法人等が重要な法人である、並びに当該役員が兼職先の法人等で重要な職務を担当している場合を記載している。

■その他の記載事項

(1) 定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項

① 正味財産の増減の状況及び財産の増減の推移について補足すべき重要な事項

ア. 経常増減の部

2017年度より一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会の協力のもと予選会場数を増加したが2018年度競技参加人数は減少したが、経費削減もあり4,543千円の黒字となった。

(2018年度経常増減の部の主たる黒字要因)

◎競技参加料収益の予算未達 : ▲6,077千円

◎PGS会員登録料収益の予算未達:▲2,466千円

◎費用削減 :13,086千円

イ. 経常外増減の部

2016年度、2017年度、2018年度は経常外取引はなし。

ウ. 正味財産増減額

以上の結果、正味財産増減額の推移は、2016年度9,459千円の黒字。2017年度6,992千円の黒字。2018年度は4,543千円を計上。正味財産期末残高は2018年度末現在69,975千円となった。

(2) 重要な固定資産の明細

① 特定資産

退職給付引当預金の増減額及びその残高は次の通り。

単位:円

	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当預金	2, 448, 411	136, 326	0	2, 584, 737
合計	2, 448, 411	136, 326	0	2, 584, 737

② その他の固定資産

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次の通り。

単位:円

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
競技用備品	3, 150, 000	3, 149, 999	1
ソフトウェア	1, 075, 680	1, 075, 680	0
合計	4, 225, 680	4, 225, 679	1

③ 引当金の明細

(ア) 退職給与及び退職給付引当金の残高は次の通り。

単位:円

	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	2, 448, 411	136, 326	0	2, 584, 737
合計	2, 448, 411	136, 326	0	2, 584, 737

退職給付引当金については、別途中小企業退職金事業本部に掛金積立を行っており、2019年3月31日現在の退職金試算額は6, 047, 263円となっている。

以上

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会

会長(代表理事) 三野 哲 治



■監事の監査報告事項

私たち監事は、2018年4月1日から2019年3月31日までの第9期事業年度の、理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果につき以下の通り報告致します。

1. 監事の監査の方法及びその内容

- 一 監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況に関する報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。また、当該事業年度に係る事業報告及び関係書類、並びに会計帳簿等、計算書類及び附属明細書につき検討致しました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書が法令又は定款に従い当該法人の状況を正しく示しているかどうかについての意見
 - 一 事業報告及び及びその附属明細書は、法令及び定款に従い協会の状況を正しく示しているものと認めます。
 - 二 計算書類及びその附属明細書は、法令及び定款に従い協会の財産及び損益の状況を、正しく示しているものと認めます。
- (2) 当該法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令違反若しくは定款に違反する重大な事実があったときは、その事実
 - 一 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 監査のための必要な調査ができなかったときは、その旨及びその理由
 - 一 監査のための必要な調査を実施致しました。
- (4) 内部体制の整備についての決定又は決議(監査の範囲に属さないものを除く。)がある場合において、当該事項の内容が相当でないと認めるときは、その旨及びその理由
 - 一 当協会は、「業務の適正を確保するための体制等」に関する理事会決定又は、決議は2016年6月23日開催の2016年度第2回理事会にて決議した内容は相当であると認めます。


3. 監査報告を作成した日

- 一 2019年5月21日

2019年5月21日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会

監事 根津 淳 

監事 鯖尻 昌弘 

監事 中村 一雄 